

2016年8月10日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部  
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 (No.29)  
「女子大生のペット事情」に関する調査結果  
～ペットに最も求めるのは癒し～

実践女子大学人間社会学部「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に「ペット事情」についてのアンケート調査を実施しました。有効回答者数は76サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生が自分たち自身」を科学する研究会です。

総括

今回の調査で、実践女子大生のペットに関する調査をしたが、現在ペットを飼っているかどうかの質問では、3割の人が飼っていると回答しており想定よりも少なかった。さらにそのすべての人が実家で飼っていると回答しており、この結果は予想していたものに近かった。飼っているペットの種類は犬・猫が多く、他にもウサギ・亀・テグーなどを飼っている人もいたが、中でも犬を飼っていると回答した人が最も多かった。そして、ペットを飼い始める年齢として最も多かったのが11歳～15歳で、そのきっかけとなるのはペットショップが7割。ペットの年齢は10歳以上と答えた人が45%という結果であった。さらに、ペットにかかる月々の費用は5,000円～20,000円と答えた人が86%で圧倒的だった。

調査結果のポイント

**(1) 現在ペットを飼っている人は3割**

現在ペットを飼っているかについて尋ねたところ、飼っていると答えた人が30%、飼っていないと答えた人は70%であった。

**(2) 飼っている動物の種類は犬が一番多い**

飼っている動物について尋ねたところ、犬が14人で一番多く、次いで猫が5人、ウサギが1人であった。その他ではカメ、テグーがあげられた。犬、猫とペットとして人気の動物を飼っていた。

### (3) 飼っているペットの数は平均 1.4 匹

飼っているペットの数について尋ねたところ、1 匹が 14 人、2 匹が 4 人、3 匹が 2 人であった。4 匹以上ペットを飼っている人はおらず、平均ペット数は 1.4 匹で、1 匹飼っている人が一番多かった。

### (4) 全ての人が実家でペットを飼っている

どこでペットを飼っているかと自由回答にて尋ねたところ、全員が「自宅・実家」で飼っていた。1 人暮らしの自宅等のその他の回答はみられなかった。

### (5) 11～15 歳でペットを飼い始める人が約 5 割

ペットを飼い始めたのは何歳ごろかと尋ねたところ、11～15 歳の時と答えた人が 48% と一番多かった。6～10 歳が 28%、生まれる前からが 14%、0～5 歳、16～20 歳が 5%、21 歳以上と答えた人はいなかった。

### (6) 10 歳以上のペットを飼う人が約 5 割。ペットの平均年齢は 7.9 歳

飼っているペットの平均年齢を尋ねたところ、「0～4 歳」が 17%、「5～9 歳」が 28%、「10 歳以上」が 45%、「その他」が 10%となり、ペットの平均年齢は 7.9 歳であった。このことから、大学生は約 10 歳～14 歳から今の飼っているペットと出会っているという傾向がみられた。また飼っているペットの種類別に見てみると、猫の平均年齢は 9.1 歳となり、他のペット（犬・カメ・うさぎ・テグー）の中で一番年齢が高かった。

### (7) ペットを飼い始めるきっかけの約 7 割は「ペットショップ」

ペットを飼い始めたきっかけを尋ねたところ、「ペットショップ」が 68%、「拾った」が 9%、「他人から譲り受けた」が 18%、「その他」が 5%となり、大学生の約 7 割がペットを飼い始めたきっかけはペットショップである、という傾向があった。

### (8) ペットにかける月々の費用は 5,000 円～20,000 円が約 9 割

ペットにかけている月々の費用について尋ねたところ、「0～5,000 円」が 14%、「5,001～10,000 円」が 43%、「10,001～20,000 円」が 43%となり、「5,000～20,000 円」に回答が集中し、全体の 86%が一ヶ月にペットに使う費用は「5,000～20,000 円」となった。

### (9) ペットを飼いたい人は 6 割超

6 割以上の実践女子大生が、現在ペットを飼っていないが飼いたいと思っている。一人暮らしの人は飼いたいと思っているという仮説を立てたが、実家暮らしとの違いはそれほど見られなかった。

### (10) ペットを飼いたい理由は「癒されたいから」が 7 割

ペットを飼いたい理由として最も多くあげられたのは「癒されたいから」だった。飼いたい理由が感情・精神的なものであるのに比べて飼いたくないと思う理由は物理・経済的なもの

が多かった。

### (11) 飼いたい動物は犬・猫がダントツ

巷でも圧倒的な人気を誇る犬と猫がダントツの得票数で、実践女子大生のペット事情は概ね世間一般と同じだと言える。

## 調査結果について

### <調査概要>

調査対象	実践女子大学渋谷キャンパス在学生
調査方法	調査票調査
調査期間	2016年5月30日～2016年6月20日
有効回答者数	71人
回答者の属性	【学年】3年生

### <本調査担当チーム>

実践「ペルソナ」研究会

3年 阿部杏子

3年 内田成美

3年 鈴木奈々子

3年 富川未夢

3年 橋本真希

## 調査結果データ

### (1) 現在ペットを飼っている人は3割

現在ペットを飼っているかについて尋ねたところ、飼っていると答えた人が21人で30%、飼っていないと答えた人は50人で70%であった(図1)。

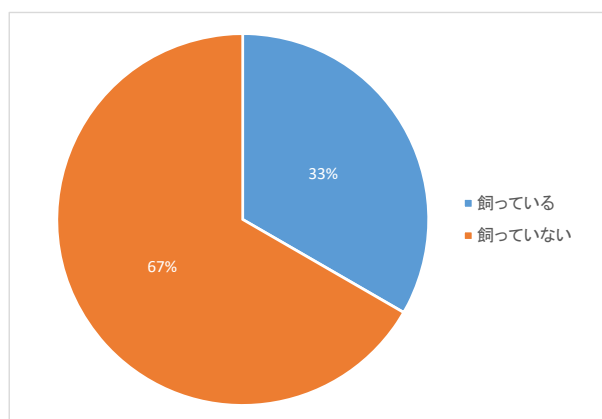


図1. 現在ペットを飼っているか (N=73)

### (2) 飼っている動物の種類は犬が一番多い

飼っている動物について尋ねたところ、犬が14人で一番多く、次いで猫が5人、ウサギが1人であった。その他ではカメ(3人)、デグー(1人)があげられた。犬、猫とペットとして人気の動物を飼っていた(図2)。

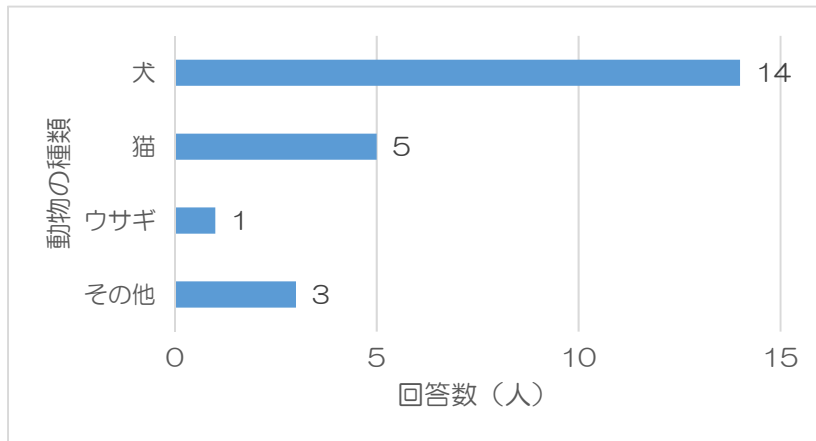


図2. 飼っている動物の種類 (N=21)

### (3) 飼っているペットの数は平均1.4匹

飼っているペットの数について尋ねたところ、1匹が14人、2匹が4人、3匹が2人であった。4匹以上ペットを飼っている人はおらず、平均ペット数は1.4匹であった(図3)。

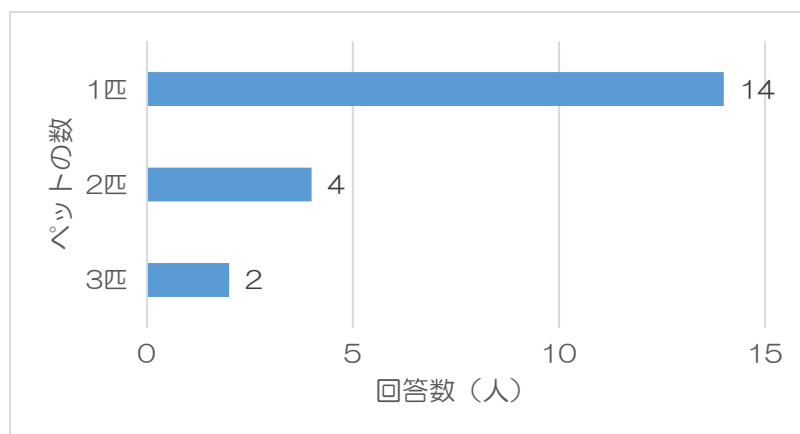


図3. 飼っているペットの数 (N=21)

#### (4) 全ての人を実家でペットを飼っている

ペットを飼っている人にどこで、そのペットを飼っているかということを探ねたところ、ペットを飼っていると答えたすべての人が「自宅・実家」で飼っていると答え、その他の回答はみられなかった（図4）。1人暮らしの自宅という回答も予想したが、調査対象が学生ということから、その回答がみられなかったことに関して、ペットにかかる時間やお金に余裕がないために飼えないと推測できるだろう。実家では、自分が家にいなくともペットの世話をしてくれる家族がいるため、その分飼いやすいのではないだろうか。

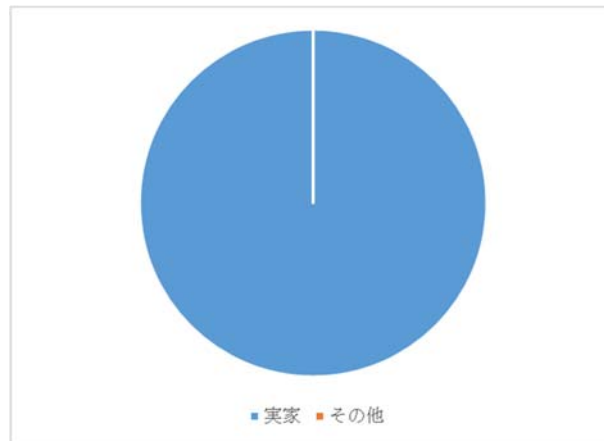


図4. ペットを飼っている場所 (N=21) (自由回答)

#### (5) 11～15歳でペットを飼い始める人が約5割

ペットを飼い始めたのは何歳ごろかと尋ねたところ、11～15歳の時と答えた人が48%と一番多かった。6～10歳が28%、生まれる前から14%、0～5歳、16～20歳が5%、21歳以上と答えた人はいなかった（図5）。以上の結果から、ほとんどの人が中学生ごろまでにペットを飼い始めていた。

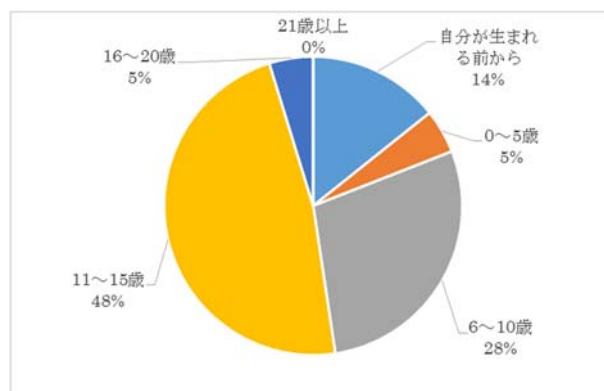


図5. ペットを飼い始めた年齢 (N=21)

#### (6) 10歳以上のペットを飼う人が約5割。ペットの平均年齢は7.9歳

ペットの年齢を尋ねたところ、「0～4歳」が17%、「5～9歳」が28%、「10歳以上」が45%、「その他」が10%となり、ペットの平均年齢は7.9歳であった（図6）。「10歳以上」が約5割を占めており、今回の調査では大学1年生～4年生（18歳～22

歳)までを対象としているため、ペットを飼っている人の約半数は人生の半分近くをペットと一緒に過ごしているという傾向がみられた。ペットの種類別に平均年齢を見ると「犬」は7.5歳、「猫」は9.14歳、「カメ」は11歳、「うさぎ」は5歳、「テグー」は1歳で、平均的に年齢が高いのは猫という結果になった。最も高齢だったのが猫の16歳で、最も若いのは犬の8ヶ月であった。また、その他の回答にペットの年齢が「中年くらい」、「分からない」と回答している人がいることから、ペットの年齢を把握していない人もいた。

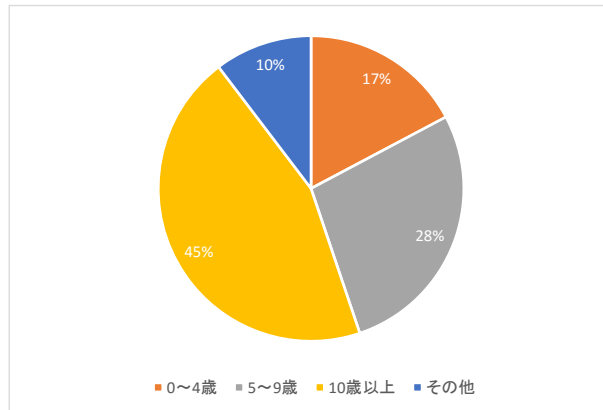


図6. ペットの年齢 (N=29、複数回答)

#### (7) ペットを飼い始めたきっかけの約7割はペットショップ

ペットを飼い始めたきっかけを尋ねたところ、「ペットショップ」が68%、「拾った」が9%、「他人から譲り受けた」が18%、「その他」が5%となり、大学生がペットを飼い始めるきっかけとなる約7割がペットショップでペットを購入する、という傾向があった(図7)。意外にも「拾ったので飼う」というケースは少数で、他人から譲り受けるというケースのほうが多くみられるようだ。また、「その他」には、「ブリーダーから譲り受けた」という回答もみられた。

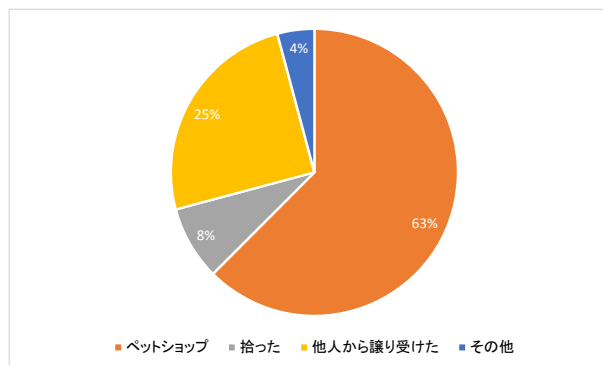


図7. ペットを飼い始めたきっかけ (N=29、複数回答)

### (8) ペットにかける月々の費用は 5,000 円～20,000 円が約 9 割

ペットにかけている月々の費用について尋ねたところ、「0～5,000 円」が 14%、「5,001～10,000 円」が 43%、「10,001～20,000 円」が 43%となり、「5,000～20,000 円」に回答が集中し、全体の 86%が一ヶ月にペットに使う費用は「5,000～20,000 円」となった(図8)。回答の項目の中には「20,001 円以上」という項目もあったが回答者は0だったため、大学生がペットにかける最高金額は 20,000 円までという結果になった。ペットを飼っている大学生の自由に使える月々のお金は平均 4.5 万円であることから、月々に使えるお金の約 3～5 割をペットにかけていることになるが、今回は全員が実家で飼っており、家族がペットの飼育費を払っている可能性が高いことが予想される。

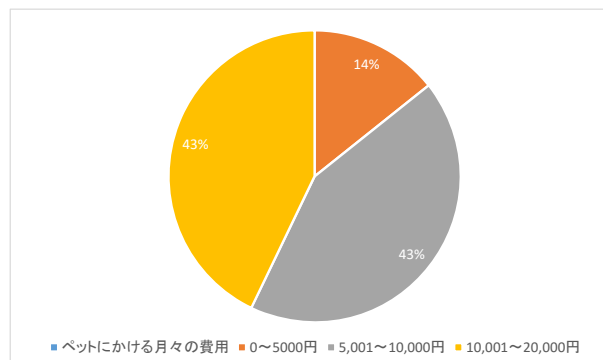


図8. ペットにかけている月々の費用 (N=21)

### (9) ペットを飼いたいと思う人は約 6 割超

現在ペットを飼っていない 50 人を対象に、ペットを飼いたいと思うか否かを尋ねたところ、はい:31 人、いいえ:19 人で 6 割を超える人が飼いたいと思うと回答した(図9)。

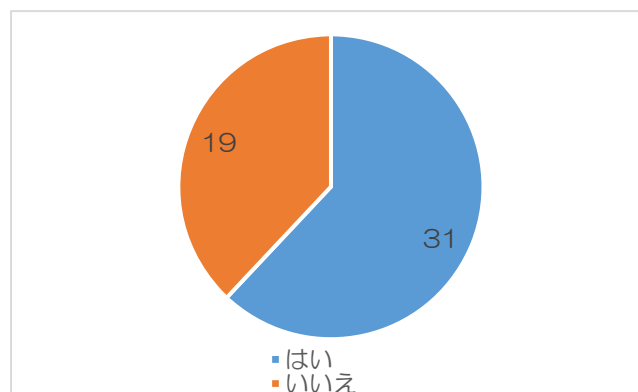


図9. ペットを飼いたいと思うか (N=50)

### (10) ペットを飼いたい理由は「癒されたいから」が7割

ペットを飼いたい理由（複数回答）を尋ねたところ、飼いたい人の7割近くに当たる21人が「癒されたいから」と回答した（図10）。同様に「かわいいから」と回答した割合も高く、女子大生はペットに癒しや安らぎを求めていると考えられる。また、飼いたくない理由として最も多かったのは「お金がかかるから」であった。「賃貸で禁止されている」など、物理的な理由で飼えない人が多かった。

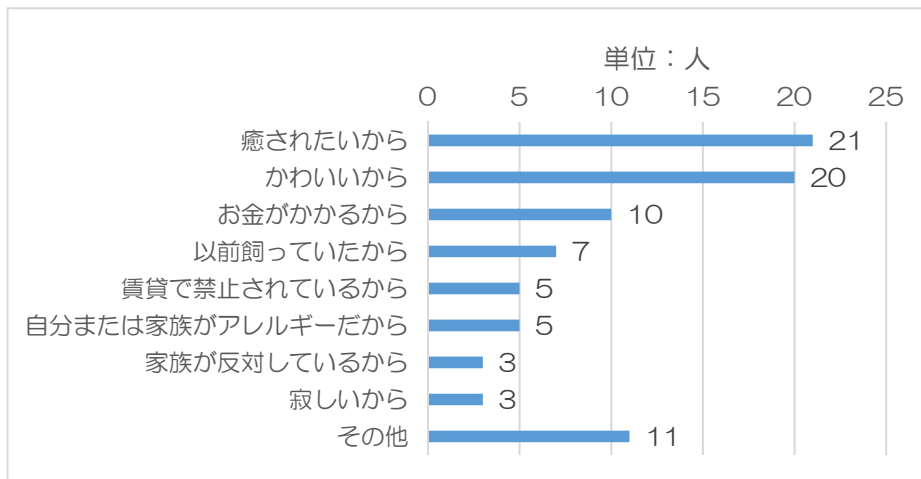


図10. ペットを飼いたいと思う理由 (N=31、複数回答)

### (11) 飼いたいペット1位は犬

ペットを飼いたいと答えた人にどんな動物を飼いたいと思いますか（複数回答）と尋ねたところ、約6割の人が犬と答えた（図11）。猫を飼いたいと答えた人も半数以上おり、一般的に見ても人気の高い犬・猫が圧倒的だった。他にはウサギ、魚類、カメ、ハリネズミと回答した人が1人ずつおり、今回の調査では鳥類、爬虫類を飼いたいと答えた人はいなかった。

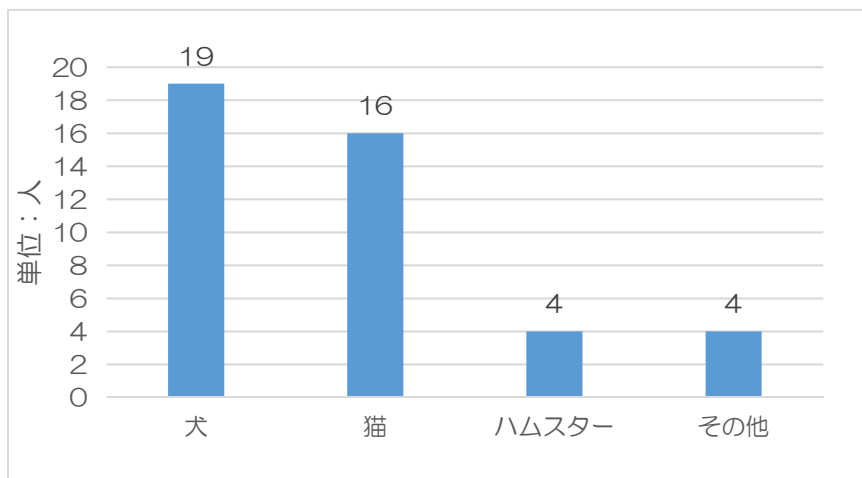


図11. どんなペットを飼いたい (N=31、複数回答)